

2023年8月10日

各 位

会 社 名 日本パワーファスニング株式会社
代表者名 代表取締役社長 安田 正利
(コード番号 5950 東証スタンダード市場)
問合せ先 経理部長 金岡 伸郎
(TEL072-789-9700)

**営業外費用(為替差損)の計上並びに
業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は本日開催の取締役会において、2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期通期連結業績予想および期末配当予想について、下記のとおり修正するとともに、営業外費用(為替差損)を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用(為替差損)の内容

当第2四半期会計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)において、外国為替相場の変動に伴い、為替差損44百万円を計上いたしました。これは主として、当社グループの保有する外貨建資産を当第2四半期末時点の為替レートで評価替えしたことにより発生したものです。なお、第2四半期累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)における為替差損は33百万円となります。

2. 業績予想数値の修正

(1)2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,400	百万円 90	百万円 90	百万円 70	円 銭 4.41
今回修正予想(B)	5,120	85	90	150	9.44
増減額(B-A)	280	175	180	220	
増減率(%)	5.2%	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	5,354	85	14	40	2.53

(2)修正の理由

2023年12月期通期連結業績予想の売上高は、当社グループの業績に関係の深い建設・住宅業界において、上半期では新設住宅着工戸数が前年を2.2%下回り低調な状況となっており、一般建築市場向けの拡販や新規のスペックイン件数が計画に届かず、また、既存取引先における複数社購買への方針変更等による減少があり、売上高は当初予想値を下回る見込みであります。営業損益及び経常損益におきましては、度重なる資材価格の上昇やエネルギー価格の高止まりの影響に対する販売価格への転嫁が追いつかず、また、売上高の不足や在庫調整による工場稼働率の低下等により、原価率が想定以上に高くなっていることから、当初予

想値を下回る見込みとなりました。また、繰延税金資産の回収可能性を見直し、当社において繰延税金資産を取崩したことにより税金費用が増加し、親会社株主に帰属する当期純損益は当初予想値を下回る見込みであります。

3. 配当予想の修正

(1) 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想(2023年2月14日)		2円50銭	2円50銭
今回修正予想		未定	未定
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2022年12月期)	0円00銭	2円50銭	2円50銭

(2) 修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識し、経営基盤の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を図りつつ、業績に応じた安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。

2023年12月期の期末配当予想につきましては、1株当たり2円50銭を予定しておりましたが、本日公表の2023年12月期通期業績予想の下方修正を踏まえ、「未定」に修正させていただきます。

(注) 上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上